

# 令和4年12月教育委員会定例会会議録

日時 令和4年12月22日(木)

10:00～11:40

場所 総合文化会館 研修室4

出席者：森田教育長、小柳委員、馬場委員  
山下委員

事務局：朝長次長、渡邊指導主事

1. 出席者の確認 松尾委員、太田係長 欠席

2. 会議録署名委員氏名

山下委員、小柳委員で了承されました。

3. 前回会議録確認

(11月定例会の会議録を確認。)

4. 報告事項

1) 教育委員会

11・12月事業報告、12・1月予定について

(別紙により朝長次長報告)

2) 給食センター

11・12月事業報告、12・1月予定について

(別紙により朝長次長報告)

3) 新型コロナ感染状況について

(別紙により渡邊指導主事から報告)

※報告事項(追加・その他)

森田教育長

はい。それでは、(1)(2)(3)に追加後、ご質問等をお願いします。

3ページに戻っていただいて、11月24日(木)、わらび座の北斎マンガという芸術鑑賞授業を行う予定でしたが、前の諫早公演でわらび座の団員さんが急病で緊急搬送され、スタッフの替えが出来なくなり波佐見公演は急遽中止となりました。年度内に公演が出来ないかお願いはしましたが、日程が全て埋まっていたということで、来年度、またこの11月前後に九州公演があるので、そちらまで延期をするということになりました。

12月20日、いきいき大学の恒例となっている年忘れカラオケ大会がありました。参加者は100名切っていましたが、盛り上がって楽しい時間が過

ごせたのではないかと考えております。

委員会の行事ではありませんが、11月末に役場職員の1年半を迎えた職員の1年半研修がありました。採用から1年半を振り返り、普段の業務をどう改善につなげ、波佐見町に還元できるかなどの発表を行います。今回は10名の職員が対象で、その内教育委員会の高村君も発表を行いました。空論ではなく、ちょっと考えて、こんなことをすれば改善につながるということを発表します。高村君の発表は、窓口業務の改善で、社会教育班を中心に会場の予約の受付業務をしています。受付に1人5分ぐらい時間が掛かっているの、年間にしてみた時、200時間の時間的なロスに繋がっているとデータを出して、この受付業務をDX化した場合200時間の削減ができるのかということを調べてそれを発表しました。水道課では水道メーター検針をどうすればもっと効率的になるとかなど、とても面白い、空論ではない現実的な意見発表があり、とても良かったと思っています。こういう役場内での研修があつて、役場を活性化させているし、それが引いては波佐見町に還元されているのかなど、とても良い研修会だったと感想を持ちました。

次4ページの1番上、本日昼15時からの郡社会教育委員会の前に、町の社会教育委員会が14時から予定をされています。1月の予定のところ8日(日)は町の消防出初式がありますが、教育委員さん方には案内ありますか。

【ありません】

9日の祝日になりますが、これも恒例になっています昭和おもしろ遊び塾が、陶芸の館前広場で行われます。一応3小学校の校長には、様子を見に来ていただきたいと思っていますが、町内校長会の会長である川田校長にちょっと挨拶をいただこうかなと思っています。会そのものは、11時にオープニングセレモニーがあると案内をいただいています。

12日(木)中学生のやきもの文化体験事業プログラムをずっとやっていますが、トークセッションの予定になっています。

波佐見高校の美術工芸科の卒業制作展が、今は長崎県美術館の方でやっていますが、13日から15日まで佐世保市の島瀬美術館で作品展が行われます。

19日に部活動の地域移行推進検討委員会の第1回目の会議を19時から開きたいと思っています。中学校の部活動がまずは休日のみ地域に移行するための第1回目の会議を開いて、方向性の確認だとか、現状・課題等々を、渡辺指導主事の進行のもとにやっていきたいと思っています。

波佐見一周駅伝は後で提案があると思いますが、県の警戒警報がレベル3になった時、再度企画会議を開く予定にしています。レベル3になったから即中止ではなく、レベル3の警報が発令されたら、企画会議を招集して、そこで意見交換をして最終的に判断をし、自治会に下すという形でやっていきたいと思っています。今はレベル2ですが、病床使用率が40%の中ほどになっています。使用率50%がレベル3になりますので、もう恐ら

く、近々になるだろうと思っています。県北管内が今70%ですからもうレベル4になっていて、80%からレベル4になるので、かなり厳しい状況に今あるのではないかと思っています。年明け直ぐぐらいがピークみたいだということを言われていますので、ちょっと現状厳しいという思いは持っています。実は自治会長会議の中でもありましたが、今不参加という地区はありませんでしたが、ギリギリだという地区は4～5地区あるということで、大変厳しい状況にあるのは間違いないと思っています。

給食センターについては、先ほど言いましたが、今回非常食対応を行いました。こういう事態が予想されるということで、給食センター所長名で、事前に保護者にも文書配布をしていました。まず一つ目が、おかずを一品減らして、非常食で対応する。2番目に、米飯をやめて、パンに変更する。3番目に、おかずのみ準備をして、ごはん等を持って来てもらうという、3段階のレベルで、保護者には周知をしていました。今回は前もっての準備が出来ていたもので、その1番目に該当したということで、保護者の方に理解してもらいながら、大きな混乱やトラブル、苦情等々は、少なかったのではないかと思っています。事前準備はもちろんありましたが、それはそれで学びだろうということで了解をいただいたのではないかと思います。

第2子以降の無償化についても、先日ある役場職員とも話をしましたが、とてもありがたいというお声を聞きました。前川町長が、少子化対策と移住定住の促進という課題を考えた場合、保護者や現役世代をいかに支援するかっていうことは、とても大きな問題だと思います。現役保護者の方々の1番大きな負担が給食費だと思う時、給食費の全額補助をいかに実現するかということとはとても大きいことかなと思っています。全額補助をする場合は1年間で5,800万、今回の第2子以降無償の予算は大体3,000万ぐらいになると思っています。何とかここを出来ないのかということ、前川町長に話をしていきたいと思っています。多分、第2子以降の半額補助は県内ではトップです。前にも話ししましたが、対馬では一食5円とか10円、一律に減額されています。佐々町さんは、第1子が8割負担、2割補助ですね、第2子が4割負担、第3子以降が2割負担、だから8割補助ですね。佐々町さんが県内では1番補助的なものは厚遇されていましたが、それを昨年一瀬前町長さんが、佐々町よりも先に頑張るということで、第2子5割、第3子以降無償ということをしていて、それよりまた一歩進んで波佐見町は第2子以降全て無償ですので、県内では最も補助が高いところだと思います。国内を見た時に、コロナ対策として3か月間だけ全額無償というところできり組んでいる自治体が多数出てきました。まだ1年間ということではなくて、物価高騰対策も含めた3か月間無償を行っている自治体が少しずつ出てきているのが今の現状ですが、保護者負担を考えた時に、給食費補助を本格的に考える時期に来たのかなと思っています。以前、谷口前委員さんと話をした時、保護者としてとても助かるっていうのが、入学準備金みたいなものがあったら助かるということをおっしゃいました。小学校1年生に入学する時、特に中学校1年生に入学する時に

は、いろいろな準備にたくさんのお金が掛かるので、そこに3万とか5万とか、準備金をいただくと大変助かるというお話を聞きました。確かにそれはそうだろうな。これも小学校1年と中学校1年だけですので、計算したら1,200万でした。これは現役保護者世帯を考えたユニークといえどユニークで、とても良い目の付け所のある補助ではないかと思っています。実は、先日渡辺先生ところに波佐見町への移住を考えているが、それぞれの学校の雰囲気・特色を教えて欲しいという電話もあっていました。そういう点では波佐見町はかなり注目を集めているのかなと思いますし、波佐見町をさらにアピールするために、給食費や入学準備金については、とてもタイムリーで有効な手だてではないかと思っています。有難いことにふるさと納税を頂いているし、そしてその方々が子供たちにといい思いがとて強いと思いますので、有効活用が出来たら良いと考えて、町長や総合教育会議に提案出来たら良いと思っています。

嬉しいニュースとしては、中央小学校が修学旅行に行ってきました。それぞれの学校の見送りについていつも行っていますが、中央小では必ず教育長が挨拶をして欲しいと言われ挨拶をします。最後に笑いながら冗談でお土産は気にしなくてもいいよということを行っています。今回は気にしてくれた子供がいて、教育長さんにと、カステラを買ってきてくれた子どもがいました。こういう冗談をもう言えないかなと思いましたが、もう1人別の男の子が先生方にお土産を買ってきてくれた子がいたということで、とてもありがたいなと思っています。今回は、旅行支援の対象だったということもあって、今回は子供たちはかなり潤沢になった部分もあったのかも知れませんが、とてもありがたく嬉しい出来事でした。そういうことに気を使える子供がいるのかと、嬉しい気持ちになりました。

長くなりました。以上、報告と追加をさせていただきました。何かご意見とかご質問ございましたらお願いします。

朝長次長

今、教育長から第1子も無償になったら5,800万という話がありましたけども、実は現町長から給食センターに電話があって、第1子まで無償とした場合いくらぐらい予算がいるか、6,000万ぐらいが良いのかという電話があったということでした。今、第2子、第3子については予算的には2,000万です。

森田教育長

僕はちょっと教材補助も出来ないかと思って、教材補助を計算してみた1,200万円ぐらいでした。谷口前委員さんから入学準備金の話を受けた時、特に中学校は制服にジャージにバックにと特に大変で、かなりのお金が掛かっているの、とても良いアイデアだなあと思って、小学校3万円、中学校5万円で計算をしてみて、2,200万円掛かりませんでした。これは一つ良いなと思って、ちょっと提案をしていきたいと思っています。とにかく移住は、ニュースでもあっているように、今年は生まれる出生数が80万を切るという、もう危機的な状況に入ってしまったということを経験した時、いかに少子化を喰い止めるかっていうのは、日本の存亡、波佐見

町の存亡に関わってくると思います。そこら辺りをやっぱりよく考えていかなければいけない、お金の使い方を考えていかないといけないと思います。

申し訳ございません。ご質問ご意見はないでしょうか。また、何かありましたら、そのときで結構ですので、よろしくお願いします。

では4番、12月の定例議会についての部分と予算について、報告をお願いします。

#### 4) 12月議会定例会について

##### 朝長次長 ①一般質問について

今回の12月議会では4名の方が、教育行政について一般質問をされています。

- ・横山議員（不登校の児童生徒の可能性を活かせる教育）
- ・田添議員（教育行政）
- ・城後議員（小中学校のタブレット活用状況）
- ・三石議員（総合文化会館・新庁舎・文化活動）

※別添資料（教育長答弁）に基づき説明。

##### ②補正予算について

またレジュメに戻っていただきまして、補正予算ですが、今回標準学力調査費ということで1,187千円ほど計上しました。こちらについては、各学校、年1回標準学力検査という検査を実施していましたが、各学校からの要望でこれを年2回実施したいという要望がありました。まず5月に学力検査を行い、そこで出た結果に対して1年間、それに向けて指導した結果、12月の学力検査でどれだけ成果が出ているのかを見たいと各学校から年2回の学力調査の実施要望があっています。

それと額は少ないですが、中学校の英検3級の負担金ということで計上しています。これは中学校で英検3級をとらせたいという波佐見町の方針があり、希望者がありましたので、その分計上しています。

学校サポーター謝礼を76万円、今回初めて計上しましたが、こちらも各学校からの要望で、学校のお世話というかサポートを地域ボランティアの方に協力してもらいたいと各学校から上がりまして、その分1時間500円程度になるかと思いますが、有償ボランティア的ところで予算を計上しています。

文化会館の小ホールのダクトが雨漏りをしていて、その改修工事を予定していますが、実際大ホールのダクトも同じ時期に作られたもので、こちらも改修した方が良いということで、大ホールのダクトについても改修工事を実施したいと思います。

最後に中学校の野球部の全国大会出場補助ですが、今度3月に、静岡で全国大会が開催され、これに出場するための補助150万円を補正予算で計

上させていただいています。  
私からは以上でございます。

森田教育長

城後議員の質問の中であったアンケートですが、県下の学校の中で学校を抽出されて実施されていましたが、私たちにも質問内容が分かりませんでした。回答について開封できない状況になっていて、学校も私たちも見られないような状況になっていました。ただアンケートを実施しますという情報だけあって、学校はただ配っただけで回収も分からないままでした。そのアンケート結果がホームページに上がっていたもので、城後議員がそこを見つけての質問になったようです。アンケートは県の体育保健課が実施していましたが、ゲームやSNS等々の健康被害についてというアンケートだったようで、そこから見えてきた課題が、県内全ての小学校において、ゲームやスマホやSNSを始めたのが、就学前だったということが分かりました。8割から9割の子供たちが、もう小学校に入学する前からそれに触れていた、あるいはそれを始めていたという事実が、データ的にはっきり分かりました。よって小学校に入ってから、そういうルールやマナーを勉強するのではなくて、保育園時代から、本人たちも保護者にもやらなくてはいけないということが改めて、データとしてはっきりしたことが良かったと思っています。もう一つ、その中で、やはり家庭内できちっとしたルールがあるところは、依存になっていないというデータもはっきり出たそうです。親の姿をちゃんと見ているとか、あるいは家族でルールが決められているところの子供たちは、利用はするけれど、依存にはなっていないというデータもはっきり明確に出てきたところがあったので、この2点は、改めて保護者に啓発資料として使えるっていうことを確認させていただきました。城後議員とも、そんなふうにやっていきましょうということで、確認出来たのではないかと思います。

三石議員の質問については、確かに25年の歴史があるこの総合文化会館の利活用について不安を覚えられるのは当然だと思っていますので、利用について不安がないような形で、広報周知をしていかなければならないと思います。図書館についても、確かに厳しい条件、状況下にありますので、実際の、業務をしているスタッフと私たちで意見交換をしながら、どういうふうな対応ができるかということは、協議をし、対応はしていかなければいけないと思っています。

補正予算については、今次長の方から説明があったとおりです。田添議員からは、年度途中でそういうことを変えるのはどうかっていう意見もありましたが、私自身、今回全国学力学習状況調査の結果が大変厳しかったという各学校の痛烈な反省のもとに、校長会や月1回の学力向上推進委員会の中で、何とかしなければいけないという思いで標準学力調査を2回実施したいということになりました。自分の学年の子供たちの理解を、確実に自分の責任において身につけさせたいという思いが、全ての学校からあったので、急なことではありましたが、補正という形をお願いをさせていただきました。私自身は、学校側のやる気といいますか、学校側からの

意欲を感じたので、何とかそれを形に出来たらということで、町財政当局に直接出向いてお願いをしました。中学校においても、実力テストを学期に1回やっていましたが、それは担任が作っている内容のものなので、本当にその子たちの力が正確に図れるかどうか分からないというところの部分もあり、中学校においても標準学力的なものできちっと判定したいという意見もありましたので、中学校でも急遽入れさせていただきました。来年度からは4校とも2回実施をするということでやっていきます。先日の校長会の中で南小学校の校長からやってよかったという意見がありました。二つの良かった点あり、一つは職員の意気込みが変わったということでした。中身を見ることでこういう学習内容が問われているということを改めて自覚をすることができ、重点的に指導をやらなくてはいけない部分分かり、先生方の意識が大きく変わったということでした。もう一つは、子供たちのテストに対する心構えが変わりましたという2点の大きなメリットをお話しされました。その話を聞いた時に、やって良かったという思いを持ちましたし、子供たちの結果につながり、それが継続できれば良いのではないかと考えています。

英検漢検についても、中央小学校と中学校で頑張っています。英検を受ける子供が中学校では大体75名程度でしたが、1番上位の子はもう2級を合格している子もいました。もちろん4級5級の生徒もまだいますが、私たちの基本的なゴールは、3年生で英検3級を、国や県の目標が今60%に上がりましたが、実際は40%です。何とか60%目標を掲げ、そこをクリアしていきたいなと考えていますので、少しでも、受験をする生徒を増やしていき、1、2年生はその準備という形で、支援が出来たら良いのかなと考えています。

サポーターは、自治会において、全戸配布をさせていただきました。後でちょっとその資料を配りたいと思いますが、学校の方から、今12名の方をできればということで希望が来ていますが、ほとんどが授業中の、どうしても立って回る子どもや、どうしても集中できない子どもたちへのサポート、声かけということと、南小学校においては放課後の学習の見守り、中学校は教室に入れなくて学習室や保健室、図書室で勉強する子供たちの見守りで、学びは教えられないと言っています。あくまでも話相手だったり、様子を見ていただいたり、そういうふうな形で、サポーターという形で、12名の方の募集をし、今教育委員会には2、3名の問合せがあります。また学校にはどういうお尋ねがあっているのか分かりませんが、何とか形になったら良いと考えているところです。

議会での様子、補正予算、次長からの説明についての追加の説明になりましたが、ここでのお尋ねご意見がありますか。

【意見なし】

はい。では、4. 議題の(1)の準要保護についての認定については申請がありませんので、5. その他の波佐見町一周駅伝についてということで説明をお願いします。

## 5. その他

- 1) 波佐見一周駅伝について
- 2) 映画「祈り」上映会について

朝長次長      それでは、一周駅伝についてご説明します。10ページの資料をお願いします。

### 【10ページ資料を使って説明】

続きまして、映画「祈り」の上映について、ご説明します。

最後にチラシをつけていますが、2月25日に映画「祈り」の上映会を行いたいと思っています。こちらは原爆関係の戦争映画になっていますが、波佐見町講堂が映画のロケ地に選ばれて、講堂でのロケがされています。そういった関係で今回無料で上映会を行いたいと考えています。また、主演の黒谷友香さんを交えてのトークショーも予定しています。当初は高島礼子さんをお願いしていましたが、高島さんのご都合がどうしても無理ということで、黒谷さんがトークショーに出ていただきます。午前の部と午後の部と2回上映を行い、トークショーも午前の部が終わってからと、午後の部の上映前に2回実施します。こちらについては、1月の広報で周知を図っていきたいと思っています。私からは以上でございます。

森田教育長      はい。その他の連絡ということで、波佐見一周駅伝と映画「祈り」についての説明でした。何かご質問等ありませんか。はいどうぞ。

山下委員      一周駅伝のご案内をいただきましたが、初めてなんですけれども、開会式とか閉会式で出席が必要なんでしょうか。

森田教育長      開会式だけにご出席願います。9時から開会式があるので、30分程度になるかと思います。  
他にございませんか。はいどうぞ。

小柳委員      朝長次長には話はさせてもらいましたが、今里廣記展の記念誌ですが、私も読んでみて、良く書かれているなという思いを持ちました。最初は100部だけの印刷をされているということでしたが、良ければ良い記念誌でもあるし、増刷とかできればどうかと思ひましてご相談させていただきたいと思っています。この前、宿の自治会でも皆さん希望があれば購入とかできるのかなと、前向きに検討していただければというふうに思います。以上です。

朝長次長      今里廣記展の冊子につきましては、増刷する方向で検討しています。宿の方から注文が来るかもしれないとは話をしています。実際宿の方では回



覧とかして希望者を募るとか計画あるでしょうか。

小柳委員 金額とか分かれば、回覧とかもしてもいいかなと思っています。

朝長次長 では、回覧とか今からされるということでしょうか。その宿の部数で増刷数が変わってくるかなとも思っています。あと、年内に増刷を発注すれば、単価が上がらないという話のようです。年明けだと単価が上がるといいう話も聞きました。大体どのくらいの、おおよその検討がつかれるようであれば、その数字を入れて発注できればとは思っています。

小柳委員 それでは改めて検討したいと思います。宿コミセンの中にも今里廣記資料館があって、1部は置いてあって、欲しいという方もいらっしゃるかと思います。その辺はまた確認したいと思います。

森田教育長 他ほかございませんか。

もう併せて持ち寄り議題ということで、教育委員さんの方から、お気づき点やご意見なり、ありましたらお願いします。

小柳委員 もう一ついいですか。前に教育長が、来年の陶器まつりの時に、学校の休校の話をしていましたが、その辺はどうなっているでしょうか。

森田教育長 一応学校の校長会を通じて、職員の思いとか、あとはPTAの役員会等々でも、そういう状況を説明したら、おおよそ前向きに良いのではないかというご意見を頂きました。そうなれば、学校の庶務規則の改定になってきますので、この教育委員会の中で改めて規則の変更ということで提案をさせていただきたいと思っています。次の1月の自治会長会あたりに説明ができれば良いかなと思っています。ゴールデンウイークの中の平日を休校にするということで、町内の小中学校がゴールデンウイーク期間全休になります。それは、一つには波佐見町での1番大イベントである陶器まつりに、子供たちが積極的に参加をする、あるいは見学に行く、探検に行くなど、そういう様々な「ふるさと波佐見」を改めて再発見をしたり、誇りに思ったり、関わりを持ったりという体験をしてもらいたいと思っています。それと同時に、思い切った長い休みが取れるということになりますので家族内の絆を一層深めてもらうという面もあります。その名称がないかと校長会でも話をして、私も幾つか提案しましたが残念ながら全て却下をされ、最終的には「絆の日」ということでどうだろうか、  
「ふるさと波佐見との絆」、「家族の絆」というのがあるので「絆の日」として良いのではないかということになりました。そちらの方で提案をしたいと思っています。一方、その休んだ部分の日数は、中学校や小学校6年生にとっては、どうしても日数確保が難しいということがありますので、ここが提案になりますが、夏休みの期間を短くするという形にしたいと思っています。もともと波佐見町の庶務規則の中では、1学期の終業を8月

31日とする、2学期の始業を9月1日とするというのがありますが、2学期の始業、例えば来年度は2日間になります。来年度は夏休みを8月29日までとし、8月30日から2学期をスタートするという形で、全体的な日数を確保していくという形にしたいと思っています。3日であれば3日早め、1日だったら1日早めるという形にし、夏休みの期間を少し短めにするので、全体的な授業時数の確保をしていきたいと思っています。

有田町は以前からやられていたところがありました。波佐見町も同じような、地域の大きなイベントに子供たちがもっと積極的に関わるといふふさと教育、キャリア教育の観点から見た時、もっと早くからやっても良かったと思いますが、子供たちの校区という問題もありました。前も話したように、ほとんどのイベントがここ文化会館で行われます。そうすると南小や東小の子供たちは、例えばここ文化会館で県展があっても、子供たちだけでは来ることができなかった訳です。保護者同伴でしか来ることが出来なかったのも、それは不平等だろうということで、遊びだけの目的ではないスポーツとか文化とか芸術的なイベントがある時は、保護者の了解があれば、南小や東小の子供も子供たちだけで行って良いと校区の見直しを行っています。昨年3月11日には校区の見直しの文書の配布も保護者には行っていますので、陶器まつりのメイン会場に自分たちだけで見学に行けるよう昨年度から段階的にそういう配慮はさせてもらっていたつもりですので、ここでご理解いただければ、そういう形で進めさせていただきたいと思っています。よろしくお願いします。

馬場委員 1月の恒例の新年始まったの書初め大会を行います。南小学校が11日の午後12日の午後から東小となっています。あと中央はまだ決まっていますが、12、13ぐらいに入ってくると思いますが、一応今回も4回予定をしています。

森田教育長 ぴりっと締まって、見違えるぐらい字が違ってきます。頑張って書くので、びっくりするぐらい全然違ってきます。一瞬にして字が変わるといふのがあります。

渡邊指導主事 11日午後から南小、12日が午後から東小ですね。ありがとうございます。

馬場委員 中央まだ決まってないから。多分連絡があると思います。

森田教育長 他ございませんか。なければ先ほどのサポーター募集のチラシを全戸配布させていただいております。

2枚目は、ディープ波佐見という広報紙、町内外の観光に使っている情報誌ですが、この第2弾「おかわり」が作られるようです。先ほど言った移住定住の促進という意味で、学校紹介のコーナーが設けられます。学校の特色ということで、この紙面に学校紹介4校の学校紹介が載るといふ

ことで一応お知らせしておきます。原稿もほぼ集まってきています。

最後に、福田清人先生の「春の目玉」という詩が有名だと思いますが、実は長崎の土井首小学校で歌われているそうです。なぜかという、鬼木が生家ですが、鬼木を出られた後は、土井首で長く小学生になるぐらいまで過ごされたということがあって、土井首小学校でも同じように福田清人先生にちなんだ様々なイベント、集会が行われていて、数十年前からこれを集会で歌っていたそうです。その情報をたまたま英語の強化をされている山崎教授とやりとりする中で、土井首小学校の卒業生の話になり、実は福田清人先生の春の目玉は愛唱歌で歌っていましたという話になりました。土井首小学校の校長に頼んだらCDをもらいました。ちょっと難しいのが当時の学校の先生が曲をつけられているそうです。もう40年ぐらい前からその方が御存命かとかちょっと分からないので、著作権の絡みが出てくるのではないかとこの部分があります。歌詞については福田清人先生については多分学校等々に使う許可はあると思いますが、作曲がどうなのかという部分があるので、ちょっと難しいかもしれません。今考えているのは、その許可をもらって歌うということできれば、波佐見町の子供たちや、土井首小学校の子供たちが、同じ歌を歌うって、とっても素敵なことではないかと思っています。もう一つは、例えば、井手先生に波佐見町らしい春の目玉のメロディを作っていただけないかと、この2パターンを今考えています。井手先生はもう、波佐見を題材にしたミュージカルのものを作られているので、作曲は奥様と多分されると思うので、同じ歌を歌うメリットもあれば、波佐見町らしい春の目玉のメロディを井手先生にお願いをして、波佐見町の子供たちがそのメロディで歌を歌うみたいなことがあって良いのかなと思っています。ちょうどその生誕も含めて、今生家の改修があって民泊利用が出来るようになった記念すべき年度ではないかと思いましたが、何かそういう取り組みが出来たら面白いのかなと思っています。折角ゆかりの地なのに、何もそういう取り組み、例えば皆で春の目玉を朗読するとか、ちょっと学校の取り組みとしては弱かったと思う時に、何かもうちょっと出来ないかなと思っていて、今のところそういう思いを持っています。

他に何か、委員の方から、ご意見とかあられるようであればお願いします。無ければ、1月の予定を決めたいと思います。

#### 【日程調整】

それでは1月の日程は、1月20日（金）午前10時から行いたいと思います。以上を持ちまして、12月の定例会を終了したいと思います。お疲れさまでした。

※次回定例会予定 令和5年1月20日（金）午前10時00分から  
波佐見町総合文化会館

令和4年12月22日教育委員会定例会会議録署名	
署名委員	小柳 吉喜
	山下 祐子